

Feature Articles

11 2020年の展望
—そこにある希望と危機—放送&ケーブルテレビ&宇宙ビジネス&
スマートシティプラットフォーム

- 12 砂川浩慶氏 立教大学社会学部教授 ▶ Broadcast
- 14 齋藤俊幸氏 上越ケーブルビジョン(株)代表取締役社長 ▶ Cable-TV
- 16 石田真康氏 (一社)SPACETIDE代表理事 兼 CEO ▶ NewSpace
- 18 前原孝章氏 & 村瀬博俊氏 (株)野村総合研究所 ▶ Smart City Platform

Channel Focus

- 7 時代劇専門チャンネル

Special Report

- 65 衛星放送協会

Convention Reports

- 34 東京モーターショー2019—「FUTURE EXPO」 取材・文/神谷直亮
- 36 「NEC C&Cユーザーフォーラム& iEXPO2019」&
「Hitachi Social Innovation Forum 2019 Tokyo」 取材・文/神谷直亮

Series Articles and Columns

- 20 放送ビジネスの政治経済学 ③ 文/音 好宏
- 22 メディア・リサーチ ～メディア企業の経営ビジョン～ 総集編 文/鈴木祐司
- 26 メディアまんだらげ ②③ 「『ケーブル年鑑2020』のデータを読む③」 文/猪股英紀
- 30 地産飛翔～ケーブルビジネス関連動向
(気になるトピック/機器チェック!/いやペ~/松平健のケーブルテレビ漫遊)
- 49 地域メディア最前線 ④ 取材・文/兼古勝史
- 50 アジア衛星TV最新情報 ②③ 文/長瀬博之
- 52 日本で受信可能なアジア衛星TV一覧
- 58 Official Information
衛星放送協会/スカパーJSAT/日本ケーブルラボ/ケーブルテレビ情報センター(CRI)
- 62 考えるメディア ②③ 文/福田 淳
- 63 ワハハ本舗 喰始のエンターテイメントのツボとボツ ②③ 文/喰 始
- 64 Information 新作映画紹介
- 66 NEWS FILE 2019年12月4日～12月23日

DATA

- 38 BS/CS/CABLE/BB加入動向
- 40 CS-CHANNEL RANKING & MOVING
- 44 コンテンツランキング & CS/BSペイテレビ接触率ランキング
- 46 CSチャンネル別プラットフォーム一覧
- 48 BSデジタル放送 & 新4K8K衛星放送 チャンネルリスト
- 72 購読オーダーシート
- 73 定期購読のおすすめ



有料放送&VODビジネスがわかる! 新社会人にもオススメの一冊



メディア融合時代到来!

【コンテンツ至上主義】視聴者が「選ぶ」メディアは?

多チャンネル放送研究所 + 音 好宏(上智大学教授&多チャンネル放送研究所所長) 編著

急速に台頭してきた有料動画配信サービス(OTT)の利用実態や、その潜在的ニーズ等を明らかにするとともに、多チャンネル放送に与える影響、多チャンネル放送とOTTとの関係等を分析。メディア融合時代の多チャンネル放送の今と未来を読み解きます。

定価:2,200円(税別)

- 編著:多チャンネル放送研究所 + 音 好宏所長
- 編集・発行:サテマガBi
- 発行日:2016年12月25日
- ページ数:182ページ
- サイズ:A5判



※購入は大手書店、Amazon、サテマガBi HPにて



CLOSE SHOT

ALE、人工衛星2号機の打ち上げに成功 2020年世界初の人工流れ星を実現予定

「科学を社会につなぎ 宇宙を文化圏にする」をミッションに掲げる(株)ALE(東京・港区、岡島礼奈社長 CEO)は2019年12月6日、人工流れ星の実現に挑戦する人工衛星2号機の打ち上げに成功した。

2号機は12月6日20時10分、Spaceflightとの契約によって調達したRocket Lab社のエレクトロンロケットに搭載され、軌道(高度400km)

投入に成功。その後、地上局との通信が正常に行えることが確認された。

2号機は今後数カ月間に渡り運用試験を実施し、全てのコンポーネントやシステムの健全性を確認した後、2020年に世界初の人工流れ星の実現が予定されている。場所等の詳細は現在検討中。

2号機には軌道コントロール装置としてスラスターが搭載されており、ノズルからガスを放出することで、衛星高度を上下させることができる。それにより人工流れ星が発生する場所・日時を目標通りにコントロールすることが可能となる。



11月25日の会見の様子。真中が岡島礼奈社長

2号機には、初号機に搭載されていたホワイト、グリーン、ピンク、オレンジにブルーを加えた5色の流星源(人工流れ星の素)が400粒搭載されている。

ALEの人工衛星2号機は11月末打ち上げ予定だったが、打ち上げが延期されており、12月6日に無事打ち上げ成功となった。